

また、熊本地震からの復興、防災・減災対策などの建設事業で借り入れた地方債を返済するための公債費は、2億6508万円の増額となる見込みです。普通建設事業費については、以前から継続して取り組んでい



歯科検診など子どもの健やかな育ちを応援

人件費は、9280万円の減額を見込んでいますが、子ども子育て支援費などの扶助費は、2億2128万円の増額としています。扶助費は子育て世帯だけでなく、介護世帯や障がいのある人、生活困窮者などを支える大切な経費で、年々増加している傾向にあります。

歳出
必要最小限の経費を計上

予算

budget revenues and expenditures

令和3年度
当初(骨格)予算
図 財政課 ☎32-1748

一般会計

297億8,508万円

骨格予算とは

選挙の時期などの影響で政策的な判断が難しい場合に、簡単に削減することができない義務的な経費や継続的な事業を中心に計上する予算のこと。

また、政策的経費や新規事業など投資的な経費は、補正予算で編成。この予算は、肉付け予算と呼ばれる。

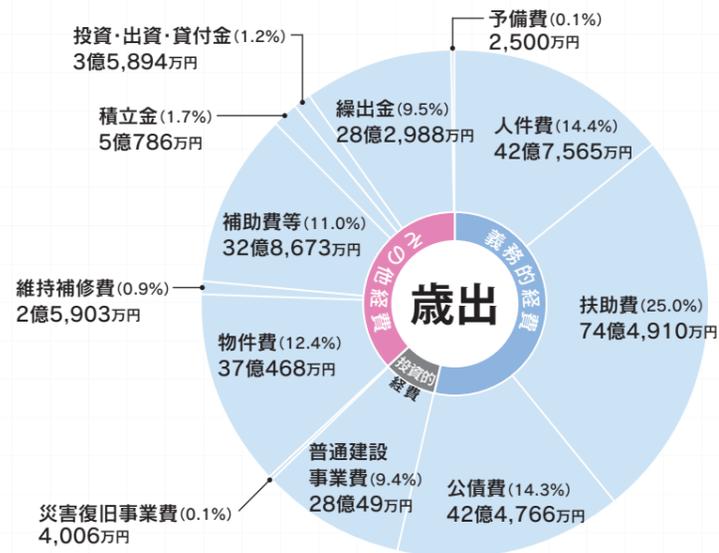
一般会計 歳出(目的別)

議会費	2億6,550万円	(0.9%)
総務費	47億6,420万円	(16.0%)
民生費	113億1,218万円	(38.0%)
衛生費	18億4,088万円	(6.2%)
農林水産業費	10億5,128万円	(3.5%)
商工費	3億1,032万円	(1.0%)
土木費	14億 600万円	(4.7%)
消防費	10億5,768万円	(3.6%)
教育費	34億6,432万円	(11.6%)
災害復旧費	4,006万円	(0.1%)
公債費	42億4,766万円	(14.3%)
予備費	2,500万円	(0.1%)

POINT 歳出(目的別)

使われる目的ごとに分類

一般会計 歳出(性質別)



POINT 歳出(性質別)

経費の内容ごとに分類

義務的経費	53.7%	159億7,241万円
投資的経費	9.5%	28億4,055万円
その他経費	36.8%	109億7,212万円

一般会計 歳入

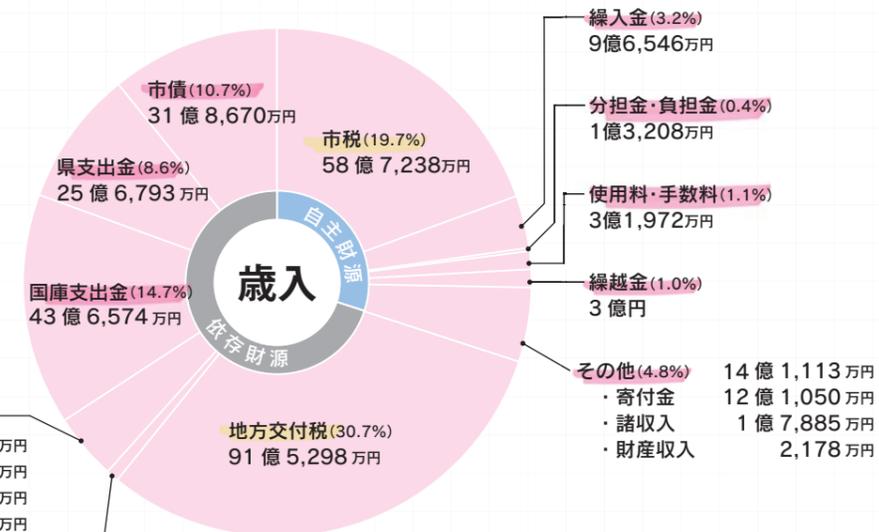
POINT 使い道が自由な
一般財源(55.5%)

165億2,966万円
市税、地方交付税、地方譲与税、各種交付金

POINT 使い道が特定される
特定財源(44.5%)

132億5,542万円
繰入金、分担金・負担金、使用料・手数料、繰越金、国庫支出金、県支出金、市債、その他

各種交付金	4.2%	12億4,204万円
・利子割		172万円
・配当割		1,330万円
・株式等譲渡所得割		1,564万円
・法人事業税交付金		1,704万円
・地方消費税		10億9,582万円
・ゴルフ場利用税		3,303万円
・環境性能割		1,255万円
・地方特例交付金		4,628万円
・交通安全対策特別交付金		666万円



繰入金	3.2%	9億6,546万円
分担金・負担金	0.4%	1億3,208万円
使用料・手数料	1.1%	3億1,972万円
繰越金	1.0%	3億円
その他	4.8%	14億1,113万円
・寄付金		12億1,050万円
・諸収入		1億7,885万円
・財産収入		2,178万円

() は構成比

今後も市民の皆さまの安全で安心な暮らしを実現するため、財源の確保と効率的・効果的な予算執行に努めます。そして、新型コロナウイルス感染症対策をはじめとするさまざまな行政課題にしっかりと対応していきけるように、より一層の財政の健全化に取り組んでいきます。

おわりに 持続可能な財政運営を 目指して



夏休み明けに稼働を開始する新給食センター

る公共施設の改修などの予算を計上しています。このうち、不知火小学校建替事業と新給食センター整備事業は本年度に完了します。

主な自主財源である市税のうち、市民税は新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、2億5346万円の減収を見込んでいます。また、ふるさと応援寄付金は7億8350万円の増収を見込み、計上しました。依存財源である地方交付税は、借金返済の一部を国が肩代わりしてくれる普通交付税措置の高い地方債を借り入れていたため、3億8298万円を増額。また、歳出に対して不足する額を9億4079万円と予測し、市が積み立てている財政調整基金から補てんします。

歳入 歳入予算の主な留意点

市議会定例会で、3月23日に可決成立した本年度の当初予算。2月の市長選挙直後の審議となったことから、人件費などの義務的経費を中心に骨格予算として編成しました。政策的な経費は、6月議会提案し、令和3年度本来の当初予算規模となります。

はじめに 本年度は 骨格予算としてスタート